

今日のトピック 最近の指標から見る欧州経済（2016年3月）

金融緩和強化と財政拡大が景気回復のドライバー

ポイント1 回復ペースは緩やか

3月の景況感は改善

- ユーロ圏の3月の製造業とサービス業のPMIは、改善しました。欧州の株式市場が2月後半から3月にかけて上昇傾向にあるなど、過度の悲観が後退したためと見られます。好悪の境目とされる50超を維持し、景気は緩やかな回復傾向にあります。
- 2015年10-12月期のGDP成長率は、輸出の減速により鈍化しました。民間企業の設備投資などは力強さを欠くものの、良好な雇用を背景とした個人消費は底堅く、景気を支えています。

ポイント2 ECBは金融緩和を強化

原油安が物価上昇圧力を抑制

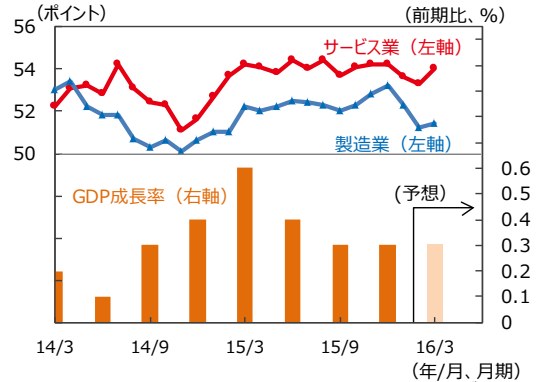
- 欧州中央銀行（ECB）は、10日の理事会で市場の予想を上回る追加金融緩和を決定しました。企業の借入コストを低減し、資金需要を喚起することなどが狙いで、景気下支え策の強化として期待されます。
- 2月のユーロ圏の消費者物価上昇率は、前年同月比▲0.2%と、ECBが目標とする2%を大きく下回りました。原油価格が歴史的な低水準にあることが物価上昇圧力を抑制していると見られます。

今後の展開

追加金融緩和と財政拡大で、緩やかな景気回復を維持

- ユーロ圏各国は、難民対策などにより財政支出を強化すると見られ、景気を下支えすると期待されます。ECBは当面、追加緩和の効果を見極める姿勢と見られますが、年後半に物価目標の達成状況に応じて、緩和を強化する可能性があります。
- 中国の景気減速、難民問題、英国の欧州連合（EU）離脱問題などにより、市場の不透明感が高まる可能性には注意が必要です。適度な原油安は、購買力を高め、消費を下支えすると期待され、景気は緩やかな回復を維持すると予想されます。

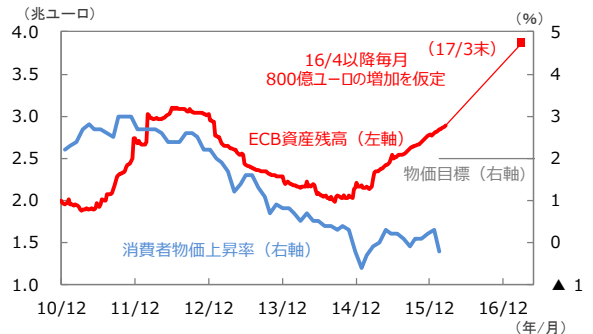
購買担当者景気指数（PMI）とGDP成長率



(注) 購買担当者景気指数は、Markitユーロ圏製造業・サービス業PMI、2014年3月～2016年3月。50は好悪の判断の境目。GDP成長率のデータは2014年1-3月期～2015年10-12月期。予想は三井住友アセットマネジメントによる。

(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ECBの資産残高と消費者物価指数（前年比）



(注) データは2010年12月～2017年3月。ECB資産残高は、2016年2月末の残高に、同年3月は600億、同年4月以降は毎月800億の増加を仮定し試算。消費者物価指数は2016年2月まで。

(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック!

2016年3月22日 **メルケル首相の「難民政策」に批判が高まる（欧州）**

2016年3月11日 **ECBの追加緩和と市場動向 物価見通しを下方修正し、金融緩和を拡充**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。